

## 2022年度若手研究者共同研究プロジェクト実施報告書

法政大学総長 殿

以下のとおり研究実施報告書を提出します。

基本情報	研究課題名：ソ連社会主義リアリズム絵画における「シビア・スタイル」の研究：アゼルバイジャン人画家サラールホフを軸に
	研究代表者 氏名：佐藤 大雅
	【在籍者】 研究科・専攻・学年（学生証番号）：国際文化研究科 国際文化専攻 博士後期課程1年
	指導教員（所属・職・氏名）：国際文化学部／国際文化研究科 教授 佐藤 千登勢 （※在籍者のみ記入）
	共同研究者（所属・職・氏名）： （※指導教員と同人の場合は記入不要）
	その他 研究分担者：
研究期間： 2022年度 ～ 2024年度（※研究終了年度を記載）	
年間の研究実施概要	<p>※研究計画の進捗状況を中心に今年度の研究実施状況を記載してください。</p> <p>● 本年度の主な研究成果は以下の通り。また、当該年度における研究計画（*）の実施状況は、概ね当初の研究計画通り。</p> <p>（*当該年度における研究計画：①；現地調査（アゼルバイジャン・バクー市）の実施、②；①等による研究資料収集、③；②で収集した研究資料の分析及び次年度の論文執筆・研究発表に向けた準備。）</p> <p>① <u>アゼルバイジャン・バクー市における現地調査</u> 2022年9月9日～19日の日程で、アゼルバイジャン・バクー市において現地調査を実施。当該現地調査の実施内容は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ アゼルバイジャン国立図書館における資料収集（当時の新聞記事、雑誌掲載記事等）</li><li>✓ 書店及び古書店での資料収集</li><li>✓ 美術館訪問及び調査（a.ターヒル・サラールホフの家博物館、b.アゼルバイジャン国立美術館、c.アゼルバイジャン国立現代美術館）</li></ul> <p>② <u>研究資料収集成果</u> ①で実施した現地調査においては、主に以下の書籍を入手した。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>『Dialog. Tahir Salahov（対話：ターヒル・サラールホフ）』</li><li>『Т. Салахов（T・サラールホフ）』（画集、三冊組）</li></ol> <p>i.はサラールホフの晩年にアゼルバイジャン国内で300冊限定で出版された最新の評伝。ii.はアゼルバイジャン国内で100冊限定で刊行された、サラールホフの作品を体系的に纏めた画集。日本では入手不可能な両文献は本研究遂行に係る必須文献である。</p> <p>③ ②で示した文献を中心に、次年度の論文執筆・研究発表に向けた準備を実施。</p>

成果発表（学会・論文・研究会等）			
	学会・論文・研究会等の別	タイトル	発行または発表年月
研 究 業 績			
	その他（アピールすることがあればご記入ください。） ・2022年度は論文発表及び学会発表等に至らなかったが、次年度は当該年度の研究成果に基づく学会発表等を予定。		